

2021（令和3）年度 活動計画書

認定 NPO 法人 こうのとりのゆりかご in 関西

1. 電話相談事業の深化と、青少年への生命尊重教育事業の具体化

(1) 妊娠、出産に悩む妊婦と、その家族のための電話相談および面談事業

予期せぬ妊娠に悩む妊婦らを対象に電話相談を開設して 3 年 4 ヶ月が経過しました。この間、のべ 380 件（292 名）の相談に対し、相談員 30 数名で対応してきました。

相談内容はきわめて多岐にわたりますが、最も多いのは「妊娠したのではないか？ 妊娠したら困る」といった内容の相談です。若い世代を含めたこうした相談をしっかりと受け止めるとともに、本年度は、6 人の専門家や 2 つの病院、3 つの養子縁組団体に問合せるケース、面談して、診療・分娩・入院・出産につながり、その先の道筋を考えるなどの、より緊急性の高いケースにも対応できる万全の備えを整えていきます。

コロナ禍においては、これまでにない環境下で苦悩する妊婦らの姿もより深刻化する可能性があります。日々に対応しながら、より受け止めるレベルを上げていけるように全体で研鑽してまいります。

全国でおそらく数千件もあるであろう相談の一部を、「in 関西」としてしっかりと受け止め、適切に応じた安心感を覚えていただくとともに、その背景も含めた全体像を的確に整理し、相談員全体（「in 関西」全体）でサポートできるシステムの充実をしっかりと図ります。

① 新たな電話相談員の養成

9 月～12 月にかけて、全 7 回の集中養成講座を開催し、5 期生として新たに 10 名を募集します。産婦人科医・精神科医・精神保健福祉士・社会福祉士・医学博士などを講師に、医学的知識やカウンセリングの基礎・社会支援制度と実際を学ぶとともに、本番のやり取りを想定した 2 回のロールプレイを経て、知識を「in 関西」の理念の下に、継続して活用し続ける人材を養成いたします。

② 現行相談員相互のスキルアップ

6 月 13 日の公開講演会に、会場またはリモート参加することで、熊本の「こうのとりのゆりかご」で日々実際に行われていることを知り、内密出産への道筋、特別養子縁組のことなど幅広く学んでいきます。

相談員全体で集まる研修会を、8 月に実施いたします。相談時間の延長のこと、SNS の活用について、相談員の自己診断や事例研究、相談員相互のさらなる研鑽のあり方等について探求してまいります。

その他、上記①の養成講座への自主参加や、後述の生命尊重を基本とした性教育企画の取り組みにも積極的に関わっていくよう働きかけていきます。

③ 面談グループによる面談

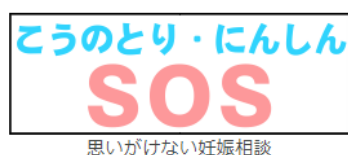
即座もしくは緊急に面談を実施し、場合によっては協力病院に繋いだり、その他、具体的な住宅確

保・生活立て直し・里親や特別養子縁組等の支援をしたりするケースも想定されます。

統括アドバイザーを中心に、臨床現場経験をもつ相談員数名で面談グループを形成し、その円滑な運営スキームを構築し、即時の対応ができるようにしていきます。

なお、妊娠中や出産後の具体的な支援費用の調達については、民間団体による支援をはじめ、公的機関の様々な制度を把握しておくことが課題となっており、相応のチャンネルを相談員全体が把握していく必要があると考えています。

④ 広告宣伝



まる5っ お産を燦燦おんなの子
050-3033-0705

匿名でも相談OK！、番号非通知でもかかります。

本年度も上記マークおよび電話番号の告知に努めます。Google社のPPC広告（Google社の支援「非営利団体向けプログラム」を受けています）によるホームページのリスティングはもちろんのこと、ソーシャルメディア「Instagram」「Facebook」「Twitter」などでの告知や実施も力を入れていきます。

また、法人リーフレットの更新、既存の「このとり・にんしん SOS」チラシに加え、生命尊重を基本とした性教育事業に特化した新しいチラシの作成と、それらの兵庫県下全中学高等学校への一斉配布の取り組み、そして公開講演会時での告知および実施に際しての関連資料配布活動を行っていきます。



電話相談

- (1) 期間：2021年4月 - 2022年3月
- (2) 場所：神戸元町・芦屋・高槻の3拠点（大阪は休館中）。高槻拠点は手狭なため京阪間で拠点を物色。なお「緊急事態宣言」発出中は、対応可能な相談員自宅でも担当
* 相談員増員による相談時間の延長などを検討
- (3) 内容：このとり・にんしん SOS 電話相談（相談員 44 名）
* 場合によっては、法律等の専門家や病院の協力を仰ぐ
- (4) 目標：電話相談年間 300 件
- (5) 成果物：電話相談報告書および統計

電話相談員養成

- (1) 期 間：2021年9月 - 12月(7回)
- (2) 場 所：神戸市、芦屋市、高槻市、オンラインも検討
- (3) 内 容：電話相談員養成講座(5期生)
- (4) 目 標：新たに10名の電話相談員の養成
- (5) 成果物：電話相談員研修報告書および養成講座修了者数

現行相談員スキルアップ

- (1) 期 間：2021年6月 - 2022年3月
- (2) 場 所：関西圏各地、オンラインも検討
- (3) 内 容：講演会視聴、全体研修会、事例研究、ロールプレイ
- (4) 目 標：参加累計60名
- (5) 成果物：電話相談員研修事例研究レポート

面談

- (1) 期 間：2021年5月 - 2022年3月
- (2) 場 所：神戸・芦屋・高槻の3拠点およびその周辺、オンラインも検討
- (3) 内 容：面談グループを中心に、相談内容を具体化した上で、協力病院・養子縁組支援団体・避難シェルター等につなぐ
- (4) 目 標：年間10件の相談対応
- (5) 成果物：面談報告書および統計

広告宣伝

- (1) 期 間：2021年6月 - 2022年3月
- (2) 場 所：支援団体、協力団体、関西圏の産婦人科医院・病院、保健所・警察署、中学校・高等学校・専門学校、関西圏の短大・女子大学や関係教育機関など
- (3) 内 容：ポスター、チラシ、カード、リーフレットの掲示、配布
- (4) 目 標：5,000部配布
- (5) 成果物：配布場所、掲示場所情報など

(2) こうのとりのゆりかご連携施設、同設置施設の開設および支援事業

現在は、大阪府下の 2 病院（淀川キリスト教病院・愛仁会高槻病院）が協力病院となっており、当方の電話相談員が、病院側医療ソーシャルワーカー（MSW）を通じて、医学上の助言を求めることができる関係です。

電話相談および面談相談で明らかとなる具体的な課題に対して、助言に加え具体的な執行機関（外来診療・分娩申込み・入院・出産などの受入れ）としての連携病院や助産院との協業確立が次の課題です。その先に、将来の「こうのとりのゆりかご」設置病院（匿名出産も受け入れる）の開設および支援があることは言うまでもありません。

なお、乳児院に対しても、相談対応窓口としての開拓をめざします。

(3) 養子縁組支援事業

養子縁組を希望する妊婦・母子への対応としては、現在、3 つの法人（公益社団法人・神戸市、NPO 法人・茨城県、医療法人・熊本市）を紹介することにしてあります。

また、出生した子どもを養親の下へつなぐまで、約 2 か月間子どもを預かる場所を確保する必要がありますが、里親講習を受講して認定証を受理すれば赤ちゃんを預かることができるとされていることから、緊急事態用に、電話相談員の中から希望者を募って里親講習を受講し、複数名で認定証を取得しています。その上で、乳児院にすぐに入れないケース、病院内にいつまでも残りかねないケースなど緊急事態への受け入れ態勢があることを、きちんと内外に告知していきます。

(4) お腹の赤ちゃんも大切な社会の一員であることを啓発する講演会開催

6 月 13 日（日）、通常総会に合わせて、『予期しない妊娠を考える…いらない赤ちゃん？ いてもらっては困る赤ちゃん？』と題し、慈恵病院理事長兼院長の蓮田健氏をお招きいたします（案内別紙）。



蓮田健氏

1966（昭和 41）年熊本生まれ。九州大学医学部卒業。九州大学医学部付属病院、国立病院九州医療センター、下関市立中央病院、福岡市民病院、県立宮崎病院をへて、現在、医療法人聖粒会慈恵病院理事長兼院長。

2018（平成 30）年、第 14 回アジアヘルスプロモーション会議にて、世界ベビーボックスシンポジウムの運営を担当した。

(5) 青少年への生命尊重教育事業

「ハローここのとり新聞」第 2 号で詳報した構想を具体化していく 1 年にしたいと思います。

1 性教育教材の開発

中学生向け、高校生向け、PTA 向けの各オリジナル教材の初版を制作します。

現在の外部協力者を含んだ実行委員会（教育グループ・プロジェクトチーム）に加え新規委員を強化しつつ、理事や電話相談員、産婦人科医・泌尿器科医・助産師らの専門家の意見を踏まえながら、「in 関西」の理念に沿ったオリジナル教材を完成します。

2 教材の流布と情報共有

兵庫県下の中学・高等学校の生徒指導主事・保健主事・養護教諭・保健体育科教諭・性教育担当教諭などを対象に、完成した性教育教材を無償提供する予定ですが、まずはウェビナーなどを通じて、意義と必要性を認知する活動を行い、賛同者や協力者となる学校及び教諭との連携を強化します。

【事前準備】

定期的なウェビナー開催（柴田綾子氏の基調講演録を素材として活用）

周知広報の段階では、学校サイトに、性教育の必要性・重要性を想起していただくため、「第 1 回ウェビナーワークショップ」で基調報告をされた柴田綾子氏（淀川キリスト教病院産婦人科医）の講演録「若年層における性教育について…医療現場の視点から」の視聴を起点とします。

- ① 本事業用のポータルサイトを制作し、サイトを通じて教材の配布を行います。
- ② ライセンス契約事項等を整備した上で、希望する学校側からの参加申込を受け付けます。
- ③ アカウントを提供し、無償ダウンロードやフィードバック、追記案・改編案のアップロードを可能にします。
- ④ こうした流れの中で、各校で自主的に性教育授業の実践を積み重ねます。
- ⑤ 付随して、参加校での実施回数、参加者数、実施状況などの統計情報を共有財産とします。

3 学校現場への性教育「出前授業」の実施

兵庫県下の中学・高等学校を対象に、「in 関西」からも、生徒向け・PTA 向けの 2 本立てで希望する学校へ、2022 年度から始まる「総合的な探求の時間」などへの外部講師としてアプローチを実施します。また、コロナ禍や遠隔地を想定しオンライン講座も実施します。

- ① 専門家を指導者として、講師（プレゼンター）養成のための取組みを行います。
- ② 学校での実施に際しては、事業収益化の検討を行います。

4 広報宣伝活動

- ① 性教育事業案内リーフレットの作成
- ② 性教育事業用ポータルサイトの制作（および運用）
- ③ その他、機会あるごとに、事業構想を広く広報します。

今年度は、内閣府が取りまとめている「性犯罪・性暴力の対策の強化の方針」（概要）にもあるように、「集中強化期間」の 2 年目にあたっており、「生命（いのち）の安全教育」の推進が求められています。一方で、現場の学校の先生方は、業務の多様さ・多忙さの中で、集中してこの問題（SNS 上で知り合った人に会うことの危険性、いわゆる「デート DV」などへの指導）にあたり切れていない現状があります。

NPO 法人として、国と学校現場をつなぐ橋渡しもできればよいと考えています。

5 幼児をもつ親への、相談員による「家庭で行う性教育」

「包括的性教育（性と生殖のみならず、人間関係・価値観・人権・文化など幅広い視点からの性教育）を学ぶため、ユネスコが出版している『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』を入手し、学んでいくところから始めていきたいと思います。

性教育を草の根的に広げるきっかけづくりとして、電話相談員有志が、自己の経験に理論をつけ加え、近隣や関係の若い親や妊婦たちに自分の子どもへの性教育の仕方を口伝していき、草の根的に、子どもと青少年への性教育を広げていく取り組みも構想しています。

2. 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従業者 | 受益対象者の範囲および人数 |
|--|--|-------|----------------------------------|----------|-------------------------|
| 妊娠、出産に悩む妊婦と、その家族のための電話相談および面談事業 | 「このとり・にんしん SOS」電話相談 | 通年 | 関西圏内の3拠点（神戸・芦屋・高槻）等 | 34名 | 全国各地から約300名（累計） |
| | 電話相談員養成講座（全7回） | 9~12月 | 関西圏内の3拠点（神戸・芦屋・高槻）・オンライン | 7名 | ボランティア研修者10名（累計） |
| | 現行相談員スキルアップ | 6~3月 | 関西圏各地・オンライン | 7名 | 現行電話相談員60名（累計） |
| | 面談 | 5~3月 | 関西圏内の3拠点・オンライン | 5名 | 関西圏各地から約10名 |
| | 広告宣伝 | 6~3月 | 支援団体、関西圏の中学・高等学校・産婦人科など | 40名 | 設置200箇所 チラシ配布枚数5000枚 |
| このとりのゆりかご連携施設、同設置施設の開設および支援事業 | 協力病院や専門家（法律等）との業務提携 乳児院との連携 | 通年 | 大阪市、大阪府高槻市の2病院、 阪神地区の6専門家、乳児院 | 2病院と6名ほか | 20名 |
| 養子縁組支援事業 | 養子縁組仲介の3つの法人との協力関係 | 随時 | （公社）神戸市、（特非）茨城県、（医）熊本市 | 5名 | 5件 |
| | 里親資格研修 | 随時 | 畿内2府4県 | 5名 | 10名 |
| お腹の赤ちゃんも大切な社会の一員であることを啓発するための講演会、セミナーの開催 | 蓮田健氏（慈恵病院理事長兼院長）による、『予期しない妊娠を考える…いらない赤ちゃん？いてもらっては困る赤ちゃん？』公開講演会 | 6月 | 神戸市中央区およびオンライン | 22名 | 300名（オフライン配信含む） |
| | 講師未定 | 年度内 | 未定 | 22名 | 200名 |

| | | | | | |
|-------------------|-----------------------------------|-------|---|-----|-------------------------------|
| 青少年への生命 尊重教育事業 | 性教育教材の利活用 | 5～3月 | 神戸市中央区を 中心に全国 | 10名 | 対象校PTA、関 係者6000名 |
| | 教材の流布と情報共有 | 9～3月 | 全国の中高生徒 指導主事・保健 主事・養護教諭・ 保健体育科教諭・性教育担当 教諭など | 10名 | ポータルサイトへ の参加実績 200名 |
| | 学校現場への性教育「出 前授業」の実施 | 12～3月 | 兵庫県下の中学・ 高等学校 | 5名 | 30校 |
| | 広報宣伝 | 5～3月 | 兵庫県下の中学 校380校、高等 学校200校より | | チラシ30,000 リーフレット 10,000 |
| | 幼児をもつ親への、相談 員による「家庭で行う性教 育」 | 6～3月 | 関西圏内の3拠 点 | 10名 | — |